

*EC加盟店（ご使用/ご検討中）の皆様へ

カード情報の非保持化について

クレジット取引セキュリティ対策協議会の定める実行計画において、インターネットショッピングでクレジットカード決済を取り扱う際に、カード情報の非保持が求められております。

非保持化を実現するセキュリティ措置として、「リンク型」と「トークン型」の2つの方式がございます。

カード情報を保持する場合は、**PCI DSS**（※）に準拠する必要があります。

※PCI DSS (Payment Card Industry Data Security Standards) とは

PCI DSSは、国際カード5ブランド (AmericanExpress、Discover、JCB、MasterCard、Visa)

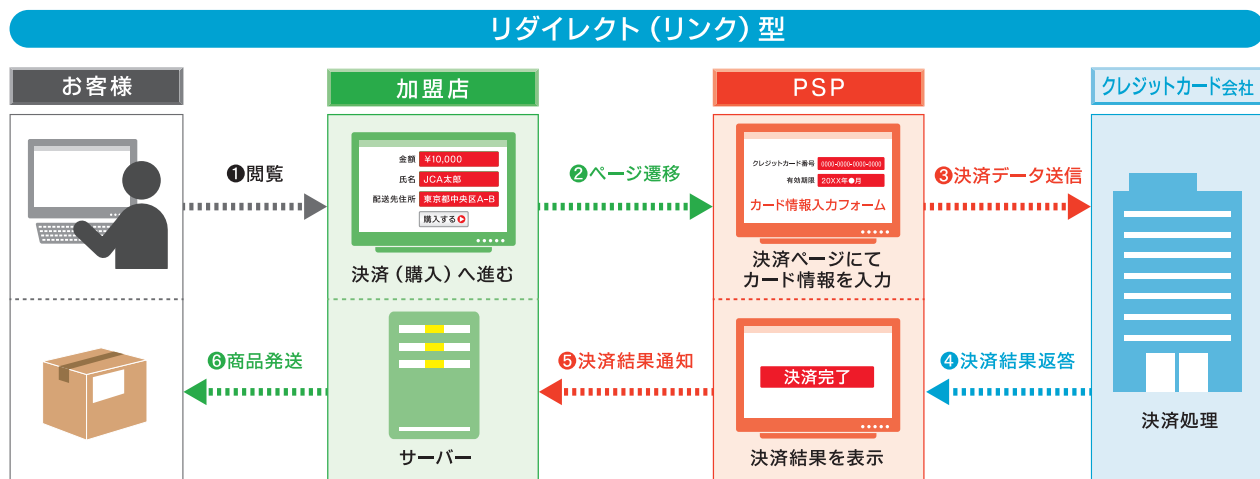
が共同で策定している、世界的に統一されたクレジットカード情報のセキュリティ対策のデファクト・スタンダードです。

1. カード情報非保持化サービスの方式について

①リダイレクト（リンク）型

お客様がクレジットカード番号を入力する際、PSP（決済代行業者）側の決済画面に切り替わり、カード情報を入力する方式。

（加盟店様では、クレジットカード番号を扱うことがないため安全です。なお、加盟店様で取引を識別するには、PSPからの識別番号を参照し行います。）

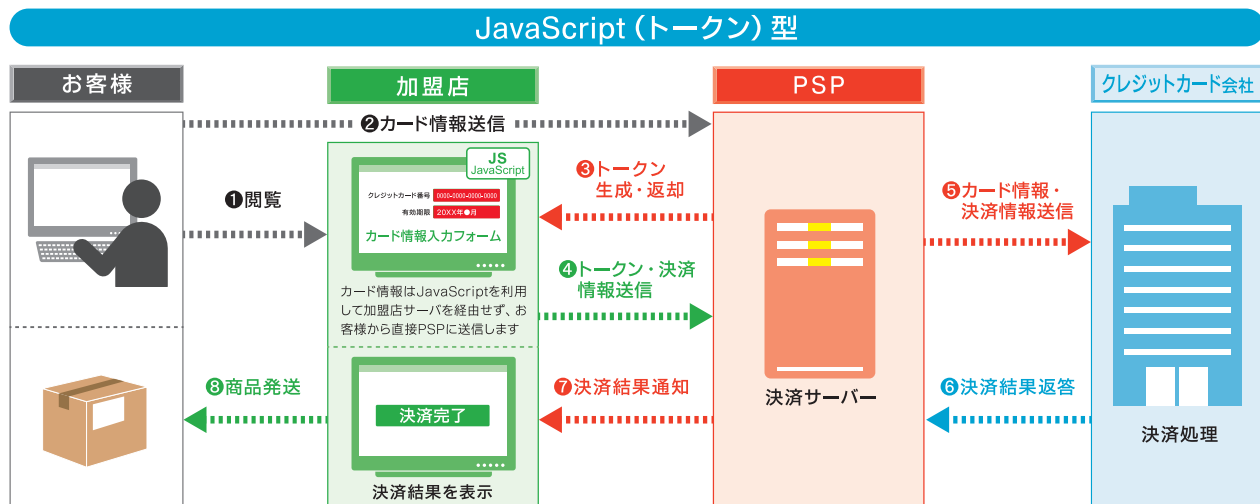


※実行計画の非保持化方式のイラストを加工し掲載

②JavaScript（トークン）型

お客様がクレジットカード番号を入力する際、PSP側の決済画面に切り替わることなく、カード番号を入力する方式。

JavaScriptというプログラミング言語を用いて、カード情報を特定できないように別の文字列に変換（トークン化）します。（加盟店様で取引を識別するには、リンク型同様にPSPからの識別番号を参照し、照会します。）



※トークンは、クレジットカード情報を代替するパラメータです。加盟店はお客様がPSPに送信したカード情報を元に生成されたトークンを利用して決済を行います。

※実行計画の非保持化方式のイラストを加工し掲載